

水環境家計簿

水使用量及び料金を記入し、節水の効果を確認してみましょう。下にある記録の仕方を参考にしてください。(水道のメーターと水道局からのお知らせで使用量等を確認できますが、水道局からの検針が毎月ある場合には1年分、2ヶ月に1回の場合には2年分の記録ができます。昨年の使用量がわかる場合は併せて記録し比較してみましょう。)

前年の使用量がわかる場合は、まず削減目標をたてましょう。

年 月から 年 月までに、水使用量削減目標を %とします。

使用期間	① 年 / ~ /	② 年 / ~ /	③ 年 / ~ /	④ 年 / ~ /	⑤ 年 / ~ /	⑥ 年 / ~ /
使用量	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³
(前年同期)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ³)
使用料金	円	円	円	円	円	円
(前年同期)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)

使用期間	⑦ 年 / ~ /	⑧ 年 / ~ /	⑨ 年 / ~ /	⑩ 年 / ~ /	⑪ 年 / ~ /	⑫ 年 / ~ /
使用量	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³
(前年同期)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ³)
使用料金	円	円	円	円	円	円
(前年同期)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)

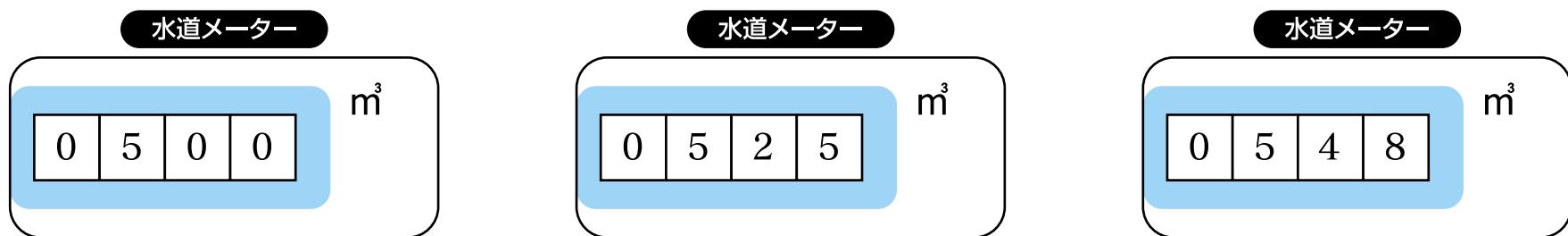
削減量及び削減率を計算してみましょう。

削減量: $A \text{ m}^3 - B \text{ m}^3 = C \text{ m}^3$

削減率: $C \text{ m}^3 \div B \text{ m}^3 \times 100 = \text{ } \%$

水環境家計簿の記録の仕方

1 水道のメーターを見て記録する場合 (この場合前年の使用量や使用料金欄には記入できません。)

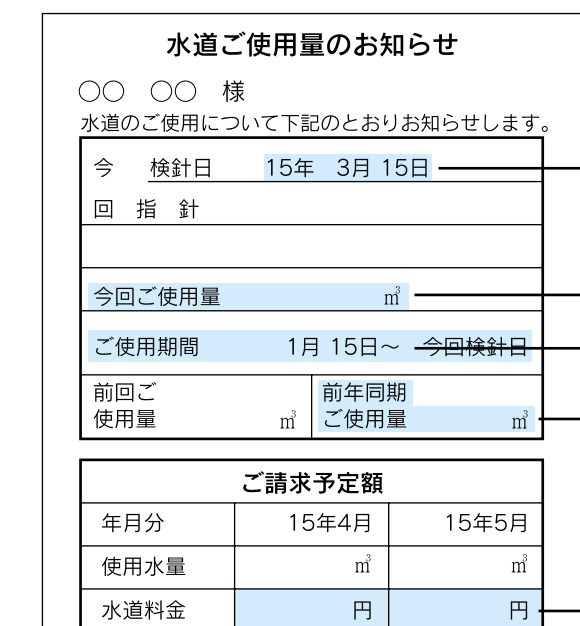


I まず、記録開始日(例えば1日)に水道のメーターの数字を記録します。(例)記録開始日のメーター500m³

II 1ヵ月後(例えば1日)再度メーターの数字を確認します。(例)1ヶ月後の使用量25m³(525m³-500m³)

III 同じ要領で1ヵ月ごとに水道のメーターを見て記録する。(例)その次の月の使用量23m³(548m³-525m³)

2 水道局からのお知らせを見て記録する場合



水道の検針は1ヶ月若しくは2ヶ月に1回行われています。左記の「お知らせ」は熊本市の例で、2ヶ月に1回検針が行われています。㉞~㉠について「お知らせ」から「水環境家計簿」に以下のとおり転記しましょう。(料金は上水道の使用料を記入)(前年の「お知らせ」があれば前年同期の使用料金も記入)

水環境家計簿

使用期間	年 ㉞ / ~ ㉠ /
使用量	㉞ m ³
(前年同期)	(㉠ m ³)
使用料金	㉡ 円
(前年同期)	(㉢ 円)

※このようなメーターもあります。

